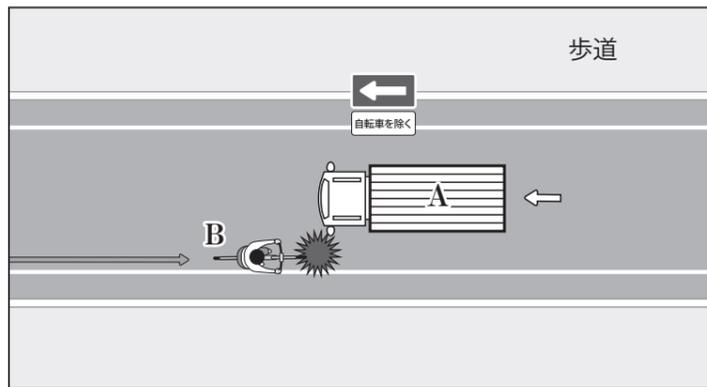


# 職場における交通安全指導

Part 117

## 一方通行道路を進行中、対向自転車と接触



### ■事故の概要

#### ●事故の当事者

当事者A：運転者(中型貨物車) 50歳代 男性

当事者B：被害者(自転車) 30歳代 女性

#### ●被害状況

A：助手席ドア擦過傷

B：重傷(左手小指骨折・左腕打撲傷)  
自転車前輪曲損

#### ●道路状況

一方通行道路(「自転車を除く」補助標識あり)

### 事故状況

運送会社に勤務して20年になるAは、中型トラックの乗務経験が豊富なベテランドライバーである。

事故の当日は、冷凍・冷蔵の食品類を東北方面へ配送する業務であった。

Aは会社を午前6時に出発し、首都高などの高速道路を利用しほぼ予定通りに最初の配送先へ到着、夕方には予定していた全ての配送先への納品を終えた。

午後4時過ぎに帰路につき、東北自動車道に向

かうため両側に路側帯がある幅員4.5mの一方通行道路を走行していた。

Aは、配送を終えてホッとしていたこと、一方通行なので対向から自動車やバイクは来ないものと思い、薄暮時間帯であったが特に注意することなく漫然と走行していた。

ちょうどその時、自転車が対向の左側寄りを走行してきたことに気づかず、やや左側を走行していると、助手席側から「ガリッ」という音と「キャー」という声が聞こえ、何かに乗り上げブレーキをかけて停車した。

Aは降車して助手席側に回ると、前輪が曲がった自転車と、右手で左手を支えるようにして倒れていたBを確認した。この時Aは助手席ドア下部のひっかき傷を見て、Bの自転車と接触し、左手にけがをさせたことを認識した。Aは、救急車を呼び、警察へ連絡をした。Bは、救急病院に搬送され治療を受けたが、左手小指骨折、左腕打撲の重傷であった。

### 事故の原因

事故当時は、ほぼ予定通りの時間に配送を終了し、薄暮であったが一方通行道路を走行していた

ことから、運転者の心理的要因としては、対向側からの自動車等がないので、油断した漫然運転状態であり、左前方の安全確認を怠ったため、Bの自転車に気が付かずに、自車左側とBの左手及び自転車ハンドルに接触、転倒させて負傷させたものである。

### 安全指導

運転者としての安全確認については、交通環境の確認は当然ですが、薄暮時間帯の周囲の状況が見えにくくなること等も理解して、十分な注意が必要です。

#### ① 「漫然運転状態」に陥らない

今回の事故原因は、配送先からの帰路、荷卸し終了の安堵感と、対向車等が来ないという(「自転車を除く」補助標識見落とし)単に一方通行道路走行という油断から漫然運転に陥ったことです。薄暮時間帯で周囲が確認し難い状況にある場合には、通常よりも更に慎重な安全確認を習慣づける必要があります。

#### ② 交通標識の確認と走行方法

国内の道路では、ほとんどといってよいほど、信号機または交通標識によって交通規制が行われています。交通規制は、標識板による主規制と、その下に設置された補助標識板による補助規制があります。一方通行の標識は、補助標識の無い場合においては、自転車を含む車両全般の一方通行規制ですが、今回のように自転車を除くという補助標識が設置されている場合は、自転車は一方通行を逆走することができます。一方通行道路の走行時においては、対向側を人や自転車が通行していることを理解して、相手に驚愕や風圧などの影響を与え万が一転倒させた場合などは、運転者の責任になることを理解しましょう。

#### ③ 安全運転義務違反

交通事故の原因で一番多いのが「安全運転義務

違反」です。安全運転義務違反は以下の7つの項目にわかれます。

#### 1. 操作不適

ペダルの踏み間違いや、ハンドル操作ミスによる事故

#### 2. 前方不注意

ぼんやりや、注意散漫による漫然運転が原因の事故

#### 3. 動静不注視

相手車両の存在をあらかじめ認識していたが、危険はないものと注視を怠って起きた事故

#### 4. 安全不確認

安全確認を怠り、車両の見落としや発見の遅れによる事故

#### 5. 安全速度違反

速度規制に違反しないものの、見通しの悪い場所で徐行を怠ったり、速度が出過ぎたことによる事故

#### 6. 予測不適

「〇〇だろう」と勝手な思い込みによる運転など、相手の動きの予測を誤ったことによる事故

#### 7. その他(1~6に該当しないケース)

今回のケースは、4の左前方の安全確認を怠った、「安全不確認」により、相手車両を見落としした結果による交通事故です。

交通事故の原因は、前記のケースに分類されるので、しっかり理解していただき、走行時は標識を確認して、交通規制を守り、安全運転に努めてください。

